



Business Report

2021年3月期 中間株主通信
2020年4月1日▶2020年9月30日

トップメッセージ

新型コロナウイルスの影響による
厳しい経営環境に鑑み、通期業績予想を下方修正

特集

Withコロナ時代、
除菌市場へ本格参入
安心・安全な新除菌剤を採用した
除菌ブランド「MA-T Pure」発売



To Our Shareholders

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルスや各地の豪雨災害でお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げるとともに、罹患されている方々、被害にあわれた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延は未だ収束せず、人々の暮らしや企業活動に大きな影響をもたらしています。当社グループにおきましては、新中期経営計画となるMP-13のスタートを1年延期し、当期は新型コロナウイルス感染拡大に対する危機管理と財務安定性の維持、コロナ危機収束後の事業拡大に向けた働き方改革の推進に加え、「ブレMP-13」と位置付けた新価値創造と事業・経営課題の解決に取り組んでおります。当期の経営基本方針として掲げた「プラン

ド価値向上に向けた全社マーケティング機能の見直し」「インドネシアを中核にした海外の基盤強化」「ビジネスプロセスの変革による生産性向上と企業価値向上」に取り組み、「VISION2027」実現のための「変革・挑戦期」と位置付けたMP-13に向け万全を期す所存でございます。

【2021年3月期 上半期業績について】

このような中、当上半期は、国内外において新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高は24.5%の減収、営業利益は80.6%の減益という厳しい結果となる中、有価証券売却による特別利益の発生により、親会社株主に帰属する四半期純利益は34.8%の減益という結果となりました。

各セグメントの売上高につきましては、日本は、緊急事態宣言などによる外出自粛やリモートワーク、オンライン授業の増加による外出機会の減少の影響により、整髪料やフレンジング剤の使用機会も大幅に減少するなど消費が低迷したことに加え、7月の記録的な長雨と低温の影響により夏シーズン品が苦戦した結果、18.6%の減収となりました。インドネシアにおきましては、2度の大規模な洪水災害の発生に加え、コロナ影響による大規模社会制限の発令などにより消費が低迷し、32.1%の減収となりました。海外その他におきましては、東南アジア各国を中心に、コロナ影響を大きく受け、34.6%の減収となっております。また営業利益については、各セグメントとも売上高の減少の影響が大きく、日本、海外その他においては、黒字を確保できたものの、インドネシアは赤字という結果となりました。

【2021年3月期 下半期について】

下半期につきましては、当初の想定より国内外ともに化粧品需要の落ち込みからの回復が鈍く、またインドネシアをはじめとした東南アジア各国での新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見通せない状況となっていることから、通期業績予想を下方修正いたしました。一方で回復傾向にあるエリアにおいては、延期していた新製品の発売やマーケティング施策を再開し、日本国内においても、新たな市場創造につながる新除菌ブランドやミドル男性向け高機能スキンケアをはじめとした新製品の展開強化により、売上回復に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年11月

2021年3月期業績見通し

売上高	640億円	前期比	△21.7%
営業利益	△8億円	前期比	—
経常利益	△3億5千万円	前期比	—
親会社株主に帰属する当期純利益	6億7千万円	前期比	△84.9%



代表取締役 社長執行役員
にしむら もとのぶ
西村 元延

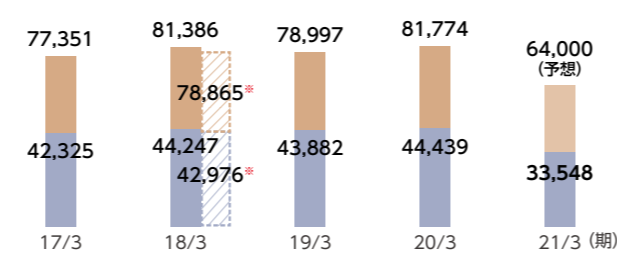
Financial Highlights

2021年3月期

第2四半期累計決算ハイライト

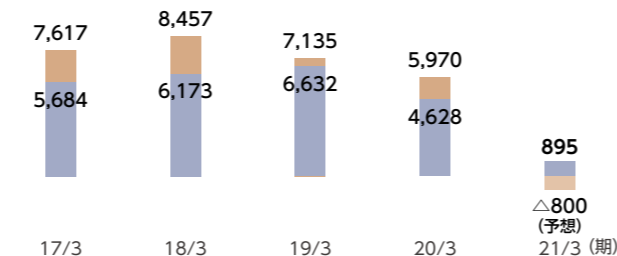
■ 第2四半期累計 ■ 通期 (百万円)

売上高 **335億48百万円** 前年同期比 **24.5%減**

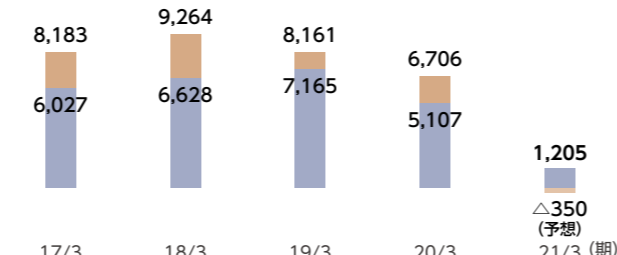


※2019年3月期第1四半期より、国際財務報告基準に準拠した財務諸表で連結している在外連結子会社において、従来費用処理していた一部の項目を売上高から控除しております。2018年3月期実績については、同様の基準で算定した場合の比較値も掲載しております。(該当箇所には*をつけております)

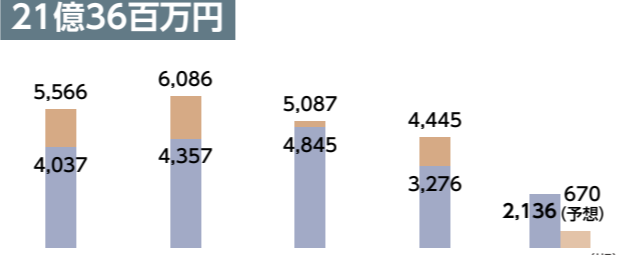
営業利益 **8億95百万円** 前年同期比 **80.6%減**



経常利益 **12億5百万円** 前年同期比 **76.4%減**



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 **21億36百万円** 前年同期比 **34.8%減**



連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前期末 (2020年3月31日)	当第2四半期末 (2020年9月30日)
流動資産	44,042	38,042
固定資産	47,618	48,663
資産合計	91,660	86,705
流動負債	11,739	9,461
固定負債	6,468	5,893
負債合計	18,208	15,355
純資産合計	73,452	71,350
負債純資産合計	91,660	86,705

Point

- **資産(49億55百万円減少)**
受取手形及び売掛金が減少したこと等により49億55百万円の減少となりました。
- **負債(28億53百万円減少)**
支払手形及び買掛金が減少したこと等により28億53百万円の減少となりました。
- **純資産(21億2百万円減少)**
為替換算調整勘定が減少したこと等により21億2百万円の減少となりました。

所在地別売上高・営業利益の概況

● 日本

● 売上高

216億90百万円 前年同期比 **18.6%減**

● 営業利益

14億79百万円 前年同期比 **51.2%減**

売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて主に「ギャツビー」と「ピフェスタ」の売上が減少し、減収となりました。営業利益は、減収の影響により減益となりました。

● インドネシア

● 売上高

59億75百万円 前年同期比 **32.1%減**

● 営業利益

△7億19百万円 ※前年同期は営業利益2億94百万円

売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて主に「ギャツビー」と「ピクシー」の売上が減少し、減収となりました。営業利益は、減収の影響により7億19百万円の営業損失となりました。

● 海外その他

● 売上高

58億81百万円 前年同期比 **34.6%減**

● 営業利益

1億35百万円 前年同期比 **89.6%減**

売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け各国とも減収となりました。営業利益は、減収の影響により減益となりました。

事業別売上高の概況

男性事業

主なブランド: ギャツビー、ルシード

205億85百万円 前年同期比 **22.1%減**

国内外ともに新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け「ギャツビー」を中心として減収となりました。

女性事業

主なブランド: ピフェスタ、ピクシー、ルシードエル、ピュセル

95億56百万円 前年同期比 **29.5%減**

国内外ともに新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け主に「ピフェスタ」、「ピクシー」が減収となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Topics

トピックス

● 「ルシード」40才からの一歩進んだ男の高機能スキンケアクリーム発売

男性の身だしなみ意識が高まる中、男性スキンケア市場は直近5年間で約1.4倍に拡大しています*1。中でも40代男性は最も購入数の多い年代であり*2、特にミドル男性の肌意識の高まりがうかがえます。

ミドル男性の肌悩みの中でも上位に上がり、老け顔の象徴ともいえる「シワ」「シミ」にアプローチし、一歩進んだスキンケアをご提案する「ルシード アドバンスドケアシリーズ」として、シワ改善有効成分である「ナイアシナミド」を、自社史上初めて配合した「薬用リンクルフォースクリーム」と、シミ対策*3有効成分「トラネキサム酸」配合の「薬用メラノクリーム」を発売しました。

ルシードは今後もますます高まるミドル男性の肌意識と加齢悩みにお応えし、お役立ちを図ってまいります。

*1 2015年4月～2020年3月/マンダム算出市場データ(スキンローションMおよびスキンケアM・ミルクMの合算)
*2 2019年4月～2020年3月/マンダム算出市場データ(スキンローションMおよびスキンケアM・ミルクMの合算)
*3 メラニンの生成を抑えシミを防ぐ



● 「ギャツビー」ペーパーコスメ、アジア各国で市場拡大

日本では主力商品の一つとなっているフェイシャルペーパー、ボディペーパーなどのペーパーコスメに関し、近年は海外においても、店頭だけでなくとどまらずスポーツイベントやガソリンスタンドでのサンプリングなど地道に試用機会づくりを継続してまいりました。

今年、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、各国で外出制限がなされ当社の中心商品であったヘアスタイリング製品売上の減少が避けられない状況となった中、リカバリー策として特に東アジア地域の各国で現地日系小売業者を中心に定番以外のアウト展開などの店頭強化を積極的に実施しました。台湾、中国においては大きく売上を伸ばしました。



● 新プロジェクト「GATSBY GLOBAL CHALLENGERS」始動!

Withコロナの時代に、海外を舞台に挑戦する若きスポーツ選手と共に、アジアの人々に勇気や活力を届けたいという想いを込めて、新プロジェクト「GATSBY GLOBAL CHALLENGERS(ギャツビー グローバル チャレンジャーズ)」を始動させます。そして、アンバサダーには、日本国内男子プロバスケットボールリーグ「B.LEAGUE(Bリーグ)」において、初のアジア特別枠選手としてフィリピンから来日するサーディ・ラベナ選手(三遠ネオフェニックス所属)の就任が決定しました。また、「ギャツビー」は所属する三遠ネオフェニックスと「トップスポンサー契約」を締結し、アウェーユニフォームにはBリーグ初となる、コロナ禍におけるアジアに向けての応援メッセージ*「EMPOWER ASIA(アジアに元気を!)」のロゴを掲出いたします。

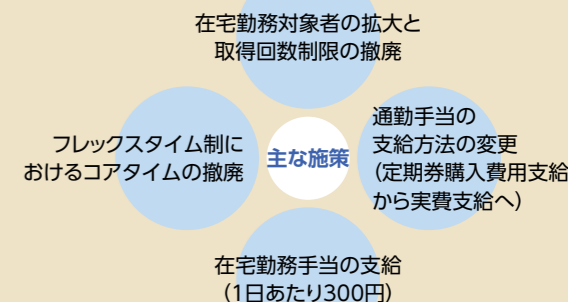
*三遠ネオフェニックス調べ(2020年9月15日時点)



● 10月1日より、Withコロナ時代の「新しい働き方」を推進

当社は、「個と会社のHAPPYの実現を目指して」という考えのもと、全社員が活躍でき、より働き甲斐のある職場づくりのために、制度整備や職場風土の醸成に取り組んでいます。リモートワークを最大限に活用できる環境整備を行うため、2020年10月1日(木)より在宅勤務手当支給などの新たな取り組みを実施しております。

個と会社の成長のためにはリモートワークやフレックスタイムなどの場所と時間の有効活用ができる環境を最大限に活かし、社員一人ひとりが自律性を持って、生産性の高い働き方をしていくことが一層重要になっています。今後も「生産性・創造性・働き甲斐」を向上させる「新しい働き方」をさらに推進してまいります。



Special Contents 特集

Withコロナ時代、除菌市場へ本格参入

安心・安全な新除菌剤を採用した除菌ブランド「MA-T Pure」発売

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、私たちを取り巻く環境はニューノーマル(新常态)への急速な変化を迫られ、その1つとして日常生活において除菌行動が定着したといえます。特に今年2月以降、除菌商品は店頭においても品薄状態となり、必要な時に手に入らない状況が続きました。

このような生活者の急激な行動変化と需要の高まりに対し、まずは当社としても保有する資産を活用し社会に貢献できることとして、アルコール除菌シートをはじめとしたアルコール除菌商材を6月以降順次発売いたしました。

さらに産官学民共同の取り組みとして社会への普及および更なる応用技術の開発を目指している次世代の画期的な除菌剤「MA-T(要時生成型亜塩素酸イオン水溶液)」について、当社も参画し、このオープンイノベーションの技術を活用した新除菌ブランド「MA-T Pure」を11月に発売いたしました。

ブランド名にもある「MA-T」は、菌やウイルスが存在す

る時に、必要な分だけ水性ラジカルを水の中で生成して、菌やウイルスに作用し、アルコールとも従来の塩素系除菌剤とも異なるメカニズムで菌やウイルス※1を除去します。

※1 全ての種類の菌やウイルスを除去するわけではありません。

「MA-T Pure」は、高い効果性と安心・安全を両立した「MA-T」を配合することで、皮膚刺激や肌荒れなど人体への影響を抑えながら、確かな除菌効果を実現します。また「MA-T Pure 除菌・消臭スプレー」の2品は、それぞれ日本MA-T工業会認証制度の試行認証第1号・第2号を得ております。赤ちゃん用品やキッチン用品などの身のまわりのものにも安心してお使いいただけますので、是非お試しください。

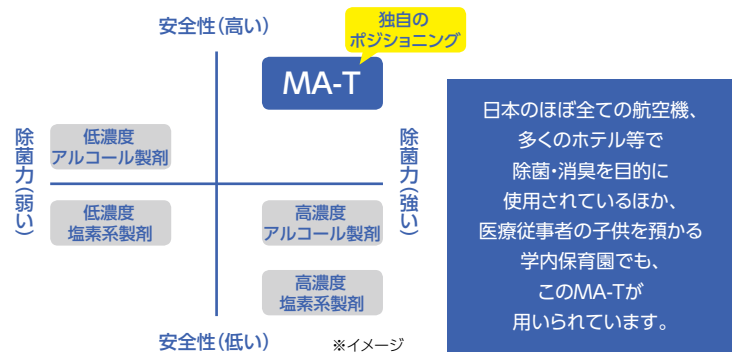
当社は、この除菌市場に参入することにより、Withコロナ時代において「健康」「清潔」領域でのお役立ちを拡大してまいります。

※商品の詳しい情報はこちら

<https://www.ma-t-pure.jp/>

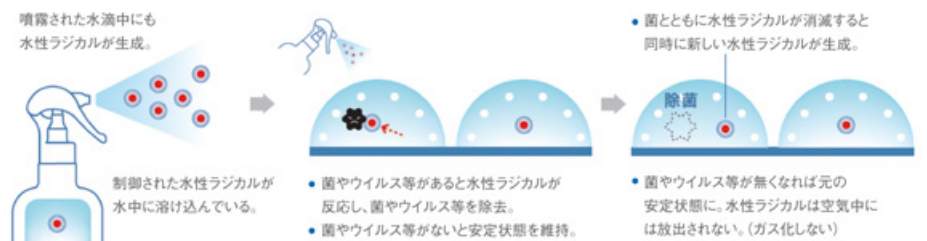


EMエーティピュア 除菌・消臭スプレー
170ml/1,200円(税込1,320円)
(ラージサイズ)
360ml/2,000円(税込2,200円)



日本のほぼ全ての航空機、多くのホテル等で除菌・消臭を目的に使用されているほか、医療従事者の子供を預かる学内保育園でも、このMA-Tが用いられています。

MA-Tは、「必要な時のみ」「必要な分だけ」水性ラジカルが反応し、菌やウイルスに作用。



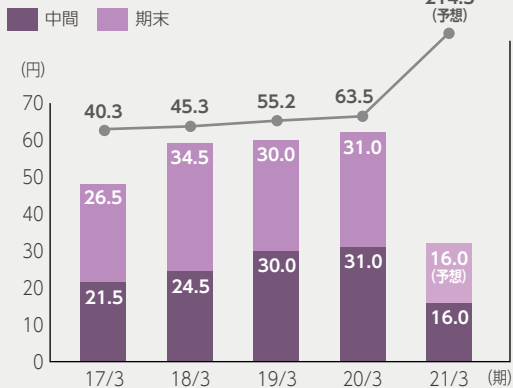
株主還元の基本方針

配当に関して

特別な要素を除いた連結ベースでの配当性向40%以上の継続

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策として位置付け、中長期的な事業拡大、新規事業開拓および企業リスクのための内部留保に配慮しつつ、配当金による株主還元は継続して実施していく方針です。配当金に関する数値目標としましては、特別な要素を除いた連結ベースでの「配当性向40%以上」としております。

配当金と配当性向の推移



※当社は2017年10月1日を効力発生日として、1:2の株式分割を実施しており、上記グラフの数値はすべて株式分割の影響を考慮した数値となっております。

株主優待について

5,000円相当の当社商品詰め合わせをお届け(2020年実績)

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の一環として、株主優待を行っております。100株以上の株式をご所有(3月31日現在)の皆さまに5,000円相当の当社商品詰め合わせを、6月初旬にお届けしております。当社をより身近に感じていただくために、優待品は当社のお奨めする商品を選定しております。

※2021年の詰め合わせ内容は変更の可能性があります。

●2020年実施株主優待詰め合わせ



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
[そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日]

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
および特別口座 三井住友信託銀行株式会社
の口座管理機関
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 ☎0120-782-031

※詳細は、当社サイトをご確認ください
URL <https://www.mandom.co.jp/ir/src/stockinfo.html>

会社概要

[2020年3月31日現在]

社名 株式会社マンドム
本社 大阪市中央区十二軒町5番12号
設立 1927年12月23日
資本金 11,394,817,459円
従業員 608名(連結2,934名)
事業内容 化粧品、香水の製造および販売、
医薬部外品の製造および販売

株式会社マンドム IR室

〒540-8530 大阪市中央区十二軒町5番12号
TEL:06-6767-5020 FAX:06-6767-5044
株式会社マンドムはISO14001(福崎工場)を認証取得しています。

IRメール配信サービス

当社のIR・会社情報をタイムリーにお知らせしています。
(会員登録はこちらから)

[マンドム IR 情報](#) [検索](#)



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

